

平和・人権
社会・宗教
政治と暮らし
分かち合い

共に生きる

No.59

発行/〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 / 瀬下幸弘 FAX093-622-1290

ながつき
長月
9
2015

「戦争展」の後援を (8月18~23日) 福岡市が拒否

理由は展示される予定の
西山進さんの漫画に
「原発いらない」「消費増税反対」
「原発再稼働反対」といった表現
がある・・・などの理由。

これに対し、西山進さんが
「西山進のまんが新聞2015.8.22
号外」を出しています。
「共に生きる9月号」は特別ページ
として、5ページにまんが新聞
6ページに一市民が市長宛に出した
手紙を掲載します。

(共に生きる紙は、西山進さんの漫画を継続
して掲載しています。)

戦争法案廃案! 安倍政権退陣!



全国100万人大行動に
参加しましょう

JR黒崎駅前 14時~15時

日本の「侵略」認めない安倍首相

8月14日、安倍首相は「戦後70年談話」を閣議決定し発表
しました。これに対し、村山元首相が「焦点がぼやけてさっ
ぱり分からないという印象を強く持った。100年以上前に
西欧諸国の植民地が広がっていたという内容を盛り込むな
ど、『植民地支配』や『侵略』の意味を普遍化、わい小化してい
る」などと痛烈に批判したのは当然です。

日本共産党の山下議員が「戦後70年談話」について8月24日、安倍首相に歴史認
識を問いました。この質問ではっきりしたことは、①日本が韓国朝鮮半島な
どを植民地支配したことを認めようとしめない。②中国への侵略した事実すら認め
たくない。③ちぐはぐな答弁で逃げたこと、「戦争法案」を通じたい。...というこ
です。この「戦後70年談話」は、世界に通用しないことは明らかです。それは戦後
の国際社会が「日本・ドイツ・イタリアの戦争が『侵略戦争』であった」ことを共
通認識としてスタートしているからに他なりません。「ポツダム宣言を受け入れ
て、敗戦した」と答えた安倍首相ですが、そのポツダム宣言は日本の戦争を「無責
任なる軍国主義による世界征服の拳(＝侵略戦争)」と規定しているのです。ポツ
ダム宣言は受け入れるが侵略は認めない」というのは矛盾しています。山下議員が
「植民地支配を語らないのは欺瞞だ」と述べたことは当然です。「戦争法案」を通
すことで「日本が戦争に巻き込まれることは絶対ない」と見栄を切っていますが安
倍首相が歴史を正しく捉えきれないことが国民にとって最大のリスクなのです。

9月のお知らせ

- ◆8月30日(日)戦争法案廃案!安倍政権退陣!
全国100万人大行動...黒崎駅前14時~15時
- ◆9月1日(火)戦争法案ストップ宣伝行動黒崎駅前17時30分
- ◆9月6日(日)戦争法案廃案を求める北九州市民
集会:勝山公園 14時~
- ◆9月12日(土)映画「望郷の鐘」(子どもの館)①14時30②18時
- ◆10月3日(土)キリスト者9条総会と講演(西南KCC)13時30分

世界人権宣言(谷川俊太郎訳)

第9条 簡単に捕まえないで

人はみな、法律によらないで、また好きか
かってに作られた法律によって、捕まったり、閉
じ込めたり、その国からむりやり追い出され
たりするべきではありません。

9月11日:イチイチ祈りの会

カトリック
場所は黒崎教会小聖堂、午後7時
どなたでもお出でください。

神戸空襲を語り伝える

塩路節子(姫路在住)

「こんなことを思い出すんじゃないよ。気が狂った人もいるんだよ。」と言われ、ひたすら忘れようとしてきた辛い思い出がある。

2004年、「世界がもし100人の村だったら」の著者の池田香代子さんが講演会の最後に「どうぞ戦争の体験のある方はその話を分かち合ってください。」と壇上から頭を下げ訴えられた。

85歳になりそう遠くはないと思う死を前にして、私はこの思い出を語り継いでおかなければと思うようになった。

▶神戸空襲

1945年6月5日の朝7時頃、いつものように挺身隊で学校から派遣された工場に出かける準備をしていた時に空襲警報が鳴った。ああまたか…。

御影の家には、両親と私(15才)と妹(13才)が残っていた。4人の兄たちと従兄弟は、お国のために中国大陸や東南アジアの戦場に送られていた。完全装備した妹と両親とめんどくさがりやの私は下駄をはいて縁側にいた。私は妹の完全装備をからかっていた。そこへB29が神戸上空に襲来、「あっ、白い煙が出てる!」といった瞬間ザ～と雨の降るような音といっしょにマッチが散らばるように焼夷弾が落ちてきた。がたがた家がゆれた。次の瞬間、私は庭の石をどう飛び越えたか、家の西側にいた。全身をぼうぼうと燃える炎で包まれた隣のおばさんが「助けてくれ」と叫びながら逃げてきて裏庭の水槽に頭を突っ込んだ。私は何故か夢中で叫んでいた。手で水をかけたが火の粉は消えるものじゃない。私はとっさに隣のおばさんとさらに裏のほうに逃げた。隣との塀はこういう時のために数箇所取り払われていたので、無花果の木の下から溝をまたいで池のある隣の家の裏庭に逃げた。煙の立ち込める池の中から人が手招きで呼んでくれた。

私は隣のおばさんと一緒に池の中に滑り込んだ。いっせいに火の手が上がった。息が出来ないので池の中の飾り石の陰に顔を入れて息をしたが、そこも熱風で息苦しかった。だれかが背中から頭から池の泥水をバケツでかけてくれた。「がんばれよー がんばれよー」と叫びながら。

▶父と妹(和子)の死

母は?カズ子は?皆どこへ行ったんだろうと頭を上げてみると、女の人影が5・6メートルはなれた煙の中に見える。だれがいる。こっちを向いて走ってきた、あ

っ!お母さんだ。「節子!」と呼んで池の中に滑り込んできた。「和子は?」「和子は今そこで死んだ。」「カズ子ー カズ子ー」と立ち上がって泣き叫ぶ私に母は「泣くなっ!」と叱った。息が出来ないようになるまでに何分かかっただろうか。ずっと泥水をかけてもらって、水面すれすれで息をしていた。あちこちの蔵が、爆発するように火の手が上がる。竜巻のように、ゴーツーゴーツーと回りながら燃え上がる。我が家が物凄い炎をあげて焼け落ちるのに20分もかからなかった。母校の小学校からは真っ赤な炎が噴出していた。

母が庭の東側に立って悲鳴をあげていた妹を見つけたときは、髪の毛も服もぼうぼう燃えていた。水をかけたら、ずるっ焼け落ちて裸になった。妹を引きずって家の東側の通路を通って裏庭まで来た。和子はもう動けなくなった。母も動けなくなった。「和ちゃん、ごめん」といって母が妹の手を離したとき、もう一度「アー」と言う妹の声を聞いた。途端にお隣の蔵が焼け落ちて妹のうえに覆い被さった。

父はどこへ行ったんだろう。姿が見えない。「さっき火を叩いて消してらしたんで、もう逃げましょうと声をかけたんだけど」と母は父を探しに行った。私は父の姿に出合うのが怖かった。周りには焼けぼっ杭のようになった人が逃げていく姿のままでころがっている。私は父が無事でいますようにと祈った。そのうち母がようやく父を見つけた。「うちの庭の防空壕の中に倒れていらした」といって、救助隊の人に頼んで2階から落ちていた鉄のベッドに載せて救護所に運んでもらった。両手・顔面・大腿部は手袋を脱いだように皮が剥がれ大やけどしているが生きていた。「和子があそこに埋まっていますので…」と近所の人に声をかけ、救護所で父と母のやけどの手当てをしてもらい、母と私は岡本の親戚の家に身を寄せた。母は体に毒素が回ってその夜から40度5分の高熱に数日間悩まされた。

翌朝6月6日、「和子!夕べは雨に濡れてごめんね。」という高熱の母にかわって、私は叔父に付き添われ妹の遺体を引き取りにいった。「此処に和子がいます」と近所の人に知らせていたので、すでに掘り出されて2



◀炎に追われる

1944年1月
東京銀座 母子はしっかり手をつないで逃げまどいます。

子どもたちの昭和史より
(大月書店)

枝のトタンの間に寝かされていた。炭になってしまって顔も何もわからない。遺体のあった場所と、履いていた皮靴が私のお下がりだったので見覚えのあるデザインを見てすぐに「和子です。」と言った。文字どおりの焼け木杭で両手両足を蛙のように開き炭のようになった内臓が飛び出していた。遺体を安置所に運び入れてもらった。

数日後、熱が下がった母を連れて安置所に行った。まだ妹は火葬されていなかったのだから柩の脇からお花を入れた。母は妹の肘が出っばっていたので、どこかにその先が落ちているなら拾ってやりたいと言ったが、私はもう一度現場を掘り返したくなかったし、もうその現場には行くのが怖かった。

父が入院していた回生病院に来た母に向かって父は「和子は死んだのか？」と聞いた。誰も和子のことを話さなかったのだから父はその事実を母に確かめた。その父も9日後の6月14日零時53分、毒素が体中に回って亡くなった。

母も私も、目をつぶると火の粉が降ってくる、そんな日が10年ぐらいつつ続いた。母はよくうなされて「和子!」と叫んだ。私も叫んでいるよと人からいわれた。美味しいものを食べても、美しいものを見ても、きれいな谷川の水音を聞いても、和子がこの感動、喜びを味わえないのを思って泣いた。母は「和子がこの世の穢れに逢わずに天に召されたのだから感謝しようね」と言って一緒に泣いた。

妹の夢は戦後50年近く度々見ていた。「今は夢だ! 和子がいる。夢でいいから一緒に居よう!」と思った。夢の中で確かに美味しいものを一緒に食べた思い出もある。或る日夢の中で、ある病院の廊下を妹と歩いている時、急に妹は可愛いパンジーの花になって私の掌に残った。それが妹との別れのしるしになったように思う。それ以後夢を見ない。でもあきらめられない。

もし戦争がなかったら、もう3カ月前に戦争が終わっていたらと、何度悔しがったことだろう。沖縄では自分の手で子供を殺さなければならなかった母親、フィリピンでは妹が足手まといだと言って日本兵の手で川に投げ込まれて殺されるのを見たお姉ちゃんがいたと聞いた。その人たちに比べたら私の妹は母の腕に抱かれて死んだ。でもあきらめられない。

▶戦後

戦後の飢餓はもっと激しかった。主食は配給停止、何もないんだから。豆粕さえなかった。ブラックマーケットが命綱だった。闇をしない人は餓死していった。私

は栄養不良で腫れ物だらけになったし、電車の中でたびたび貧血を起こしてかがみこんでいた。戦後の三宮の駅地下構内では毎日人々が餓死していた。遺体が地下道の入口に並んでいた。三宮のガードの下は東洋の闇市だった。警察が時々来るが、中国人は強かった。警察なんかそこのけ、時々どこからかピストルがほえていた。いたちごっこだった。警察がおさえたら報復もあった。警察は、闇をする日本人を逮捕しても無意味だった。巡查たちも食べられなかった。尊敬していた方ははっきりと言ってくれた。「闇をしてもよい。生きなければならないから。」

受け持ちの先生は私たちに前にして大声で怒鳴った。「お前たちのような者がいるから戦争に負けたんだ!」「何言ってるのよ。毎日毎日、必ず吹くといった神風はどこへ行ったの!誰が信じるものか。」阿保らしくて聞いてられなかった。「社会は180度の転回をした云々」「わかってるわよ!」その中で一人の先生は一言も言わずに寂しく教壇を降りて去っていった。

200名入学した同級生は32名になって卒業した。家を焼かれたり家族を亡くしてばらばらになった。

このトンネルを駆け抜けたものしかわからない妹の死を大声で泣けなかった。ただお国のために耐え忍んだ。一億一心天皇陛下のためであり、統一しなければ戦争なんか出来ない。泣きごとや文句をいってはならなかった。私はこれが一番恐ろしい。人間として思い考えることの自由がなかった。このトンネルを駆け抜けた者にしかわからないと思う。死ぬ前にまだ書く力のあるうちに、これを書くことを促して下さった方に感謝する。

節子 2015年8月

戦争に傷ついた1人の記録として残します。
1930年 兵庫県武庫郡御影町で生まれる
1945年 神戸空襲に逢う



語りつぐ人たち

絵.. 西山進

消費税と人権・平和を考える (8)

安永 亮 税理士事務所
安永 亮 所長



前回は、消費税を転嫁できない事業者は、自腹を切って消費税を納付する結果になると書きました。今回は、利益のない赤字の事業者が、所得税や法人税の負担はないのに消費税は負担するというお話です。

事業者の利益は、売上から仕入・費用・損失を差し引いて計算します。利益がなく赤字なのは、売上の額より仕入・費用・損失の額が大きいからです

ところで、消費税は、納税義務者である事業者が【売上などで受け取った消費税額】から【仕入、経費などで支払った消費税額】を差し引いて、手元に残った消費税を税務署に納める仕組みでした。したがって、売上より仕入・経費の方が大きいと手元に残る消費税はないはずと考えられるのに、なぜ消費税を納めることになるのでしょうか？

その理由は、仕入・経費の中に消費税がかかるものとかからないものがあるからです。

読者の皆さんも、食料品・生活用品の購入や電気代、電話代、運賃など日常生活の大部分の支払に消費税はかかるけれど、税金や生命保険料、保険診療代、賃貸住宅の家賃などのように消費税のかからない支出があることも経験されていると思います。

同じように事業者の仕入・経費の中には消費税のかからないものが含まれています。労働者に支払う給料・賞与をはじめ社会保険料などの保険料、自動車税などの税金、地代、借入金の支払利息などさまざまです。

事業者は手元に残った消費税を計算するとき、消費税のかからない仕入・経費を除いて計算します。そうす

ると、【売上などで受け取った消費税額】の方が【仕入、経費などで支払った消費税額】より大きくなって、消費税を納付する結果になるのです。そもそも利益がなく赤字なので、消費税の支払が重くのしかかり、滞納になっていきます。消費税の納付の為に借金をすることもあります。

このような場合、事業者は少しでも消費税の納税額を減らすことが出来ないかと考えます。その為にどんな手段をとると思いますか？

仕入・経費を、可能な限り消費税がかかるものに置き換えようとするでしょう。しかし、今のままの支払金額の上に消費税が乗っかるだけだったら手元から出て行くお金の総額は変わりません。支払金額を変えずに、消費税がかかるように出来ないかと考えます。

事業者自身で出来る一番手っ取り早い方法は、給料・賞与、保険料などのかかる社員を減らし、外注で済ます方法です。社内のさまざまな仕事を自社の社員でするのを止めて、派遣会社やサービス会社などに外注するやり方に置き換えていくのです。人件費を1千万円減らせば、80万円ほど納付額が減ります。同じことならそうゆう動きが出るのは自然な成り行きでしょう。

こうして消費税は、労働者の雇用を守ろうと頑張る経営者を苦悩させると同時に、労働者の働き方も変化させるのだと思います。消費税だけが理由だとは思いませんが、ひとつの理由に挙げられると思います。

今回は、「輸出大企業には多額の消費税が戻ってくる」理由について考えてみましょう。

《アムネスティ》下関通信 (No. 17)



下関の8月恒例行事「戦争展」(34回目、ピース21下関実行委主催)で、今年は「沖縄戦」のすさまじいDVDも観ることができました。激しく降る爆撃の中を逃げまどう住民たち(死者20万)。下関大空襲のパネルと共に今日本の最大課題である「安保法案」解説コーナーもありました。8/21には下関市立大の教授6名が安保法案の廃案と、安保政策を争点とする選挙を求める声明文を、市役所での記者会見で発表しました。月末には山口県下一斉に安保法反対デモが行われます。

さて、「安倍談話」への各評がたくさん報じられていますが、アムネスティ日本の評(8/18、朝日「WEBRONZA」)は、「慰安婦問題」解決の好機を逸した」というものでした。その内容は「心から

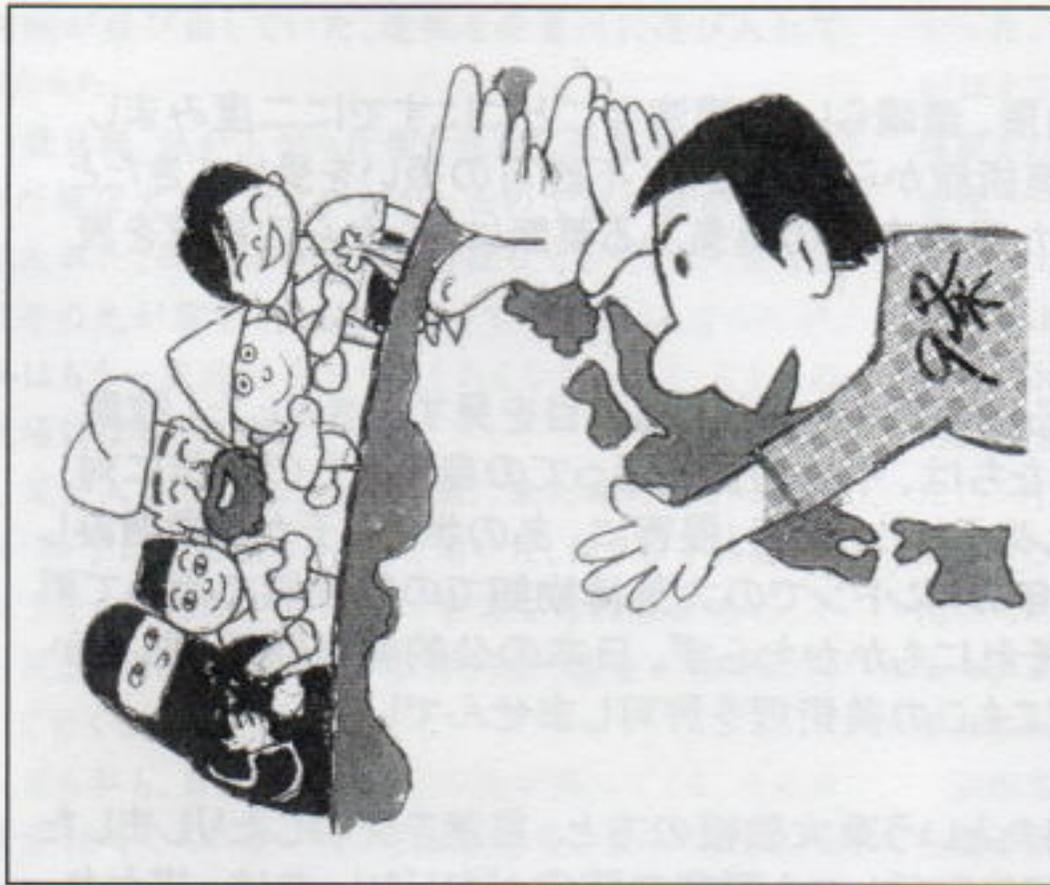
の謝罪」には不十分。過去の性暴力を直視しない日本政府は、先進8カ国の同様の取り組みにも遅れ影が薄い、と。私も全文を読みましたが、女性被害については2ヶ所とも、「傷つけられた」と受身表現で、日本が加害者である表現ではありません。「慰安婦問題」解決は、何よりもまず日本政府が事実を認定することが不可欠です。私たちは幼い日から「ごめんなさい」を素直に言える潔さこそ、相互信頼への第一歩と教えられてきました。日本は難航している外交問題を打開する意味においても今夏の「安倍談話」は絶好の機会の一つでした。アムネ日本の無念さに同感です。

国境を越えて訴え出た被害者たちが18年かけて闘った10件の「慰安婦裁判」中、日本の司法は8割までを事実認定しています。その血を吐くような証言にこそ真実の力はあると信じます。(2015.8.26 アムネ下関、山県)



戦争展盛況 でした

市役所の
人もたくさん
見に来てだよ



『福岡市「戦争展」の後援を拒否』の新聞記事を目にしたとき「えっほん」と思いました。拒否の理由が「反原発の漫画や話がはいつているから」と書いてあったから思わず吹き出してしまいました。

公的権力の言論の自由や表現の自由に対する干渉です。市長は元シスターリスト。本当だったら、「市民の皆さん戦争展を見ましょ」といつてもおかしくないですよ。

戦争法は言うに及ばず原発の再稼働も、国民の大半以上が反対です。それを押し切つて再稼働を強行しましたが、故障が起こつて、発電量の引き上げを延期です。かつて自民党の幹事長さんが原発があれば、いつでも核武装できるから」といいました。ちゃんと戦争につながっているしやありませんか。

でも市長さんにお礼を言わなければなりません。だって例年より入場者が倍増です。私の街の自民党の後援会の役員さんも、「夫妻で見えて「よくまあこれだけ資料を集めましたね、頑張つてくださいよ、漫画も面白かつたよ」と励まして帰りました。

新聞や、テレビもこの道理にかなつてないので取り上げていました。マスコミさんありがとう。



だって、憲法の条にはちゃんと「戦争放棄、武力はいけない」とつたつているのに、それは言えないので、私の漫画に力をつけてたものでよね。



これから秋にかけて とても大事なときになります。



戦争立法を撤回させてくずれぬ平和をつくりましょ。うふただび被爆(曝)者をつくらぬよう声をあげましょ。

原発の 再稼働に 反対です



来年の 戦争展へ まだ会いましょ

街を歩いてると、「あらよしよに出たでしょう、写真をとらしてください」ときれいな女性が、カメラのシャッターを押ししました。変なところで「キヤン人」になつたものです。

公権力の言論に対する干渉は戦争への道、「ア力攻撃」は戦争への道です。ゆめゆめ忘れないようにましょ。

市役所のみなさん憲法を守つてください。来年の「戦争展」はぜひ後援してくださいね。



子どもを戦争にやらない!

福岡市が「戦争展」後援を拒否し、それについて一市民が福岡市長に送った手紙の紹介。

高島市長殿

今開催中の「肉筆浮世絵の世界」展、素晴らしく、講演会ごとくにすでに二度みました。特に「春画展」は日本で公的美術館から、ことごとく不許可の扱いを受けてきたと知り、それを日本で初めて許可した高島市長の勇氣ある英断に、心からの敬意を表します。

春画は明治以降、日本では単なる猥褻物扱いされ、陽の目を見ずにきました。歌麿や師宣など最高峰の江戸の絵師たちは、平成の世に至っての自分たちの創作に対する「表現の自由」と不当におとしめられた「人権」侵害に、あの世でさぞかし齒噛みしていたことでしょう。それが2013年のロンドンでの大英博物館での春画展で始めて再発見され、世界が絶賛しました。それにもかかわらず、日本の公的美術館は、お上から苦情が出るのではと恐れて、どこもこの美術展を許可しませんでした。

会場で、東京からわざわざ見に来たという東大教授の方と、言葉を交わしたりしましたが、国宝級の歌麿の絵に対して何度陳情しても国宝の認定がおりないのは、描かれているのが遊女だから、という頭の固い役人の判断によるためだそうです。そんな中で高島市長の許可は因習を打ち破る快拳であり、福岡市美術館と高島市長の名は日本の美術史上に名をとどめることになった、文化や芸術に造詣が深い市長をもって福岡はいいですね、と言っておられました。

そこで、今開催されている「平和のための戦争展」ですが、何故にこれまで三年間してきた福岡市の後援を許可しなかったのでしょうか。展覧会に足をお運びください。直接、虚心に作品とむきあってください。そうすれば、「二度と許すまじ、原爆を」と誓う被爆者の思いが、お分かりいただけ、申請の書類だけで不許可にしたのは、間違っていた、と納得できることでしょう。自分の眼で見て問題ないとわかったからと、不許可を取り消します、後援します、といえばすむことです。

時の権力者をも笑いの対象にするのは、ポンチ絵などといわれた昔から、漫画芸術の世界では、常套手段です。特定の政治思想に偏ったものではなく、権力者に対しての庶民からの目線というスタンスにすぎません。ヒトラーを笑いものにしたチャップリンの映画は今、世界で高い評価を受けています。芸術に理解の深い高島市長なら、この展覧会を後援することの大切さがおわかりになると思います。原爆の実際の体験者が描く作品など、今後はもうまれないのです。どんなに新作が見たいと思っても、誰も描く被爆者等いなくなってしまう時代は目の前にせまっています。だからこそ、今、福岡市がこの展覧会を後援する大きな意義があるはずですよ。

市長の英断に期待します。

2015年8月18日

8/23 戦争法案許さない北九州集会 800人が行進



住職・ママ・労働者・教授など多彩な面々がアピール。中でも、青年の参加は頼もしかった。

◀ 大学生も発言



▲ このうちわは目立った!



このゼッケン、言い当てる

「集団的自衛権
原発を売り
ミサイルを売り
平和をも売る」

◀ 残暑厳しい日でしたが、この句に思わず拍手。振り向かないで・・・ハイ、ポーズ。

「標的の村」の三上智恵監督、待望の第2弾

ドキュメンタリー映画

ご案内

いくさば とうどう 戦場ぬ止み

沖縄の思いを、肌で感じてほしいと思います。沖縄まで行けなくても、この映画で心を通わせることができます。ぜひ観てください。(瀬下)

今、辺野古の海を埋め立てて最新のアメリカ軍基地が作られようとしている。巨大な軍港を備え、オスプレイ100機が配備される。それは、もはや普天間基地の代替施設などではない。

2014年8月14日、大浦湾を防衛局と海上保安庁の大船団が包囲。日本政府は機関砲を装備した大型巡視船まで投入して、建設に反対するわずか4隻の船と20艇のカヌー隊を制圧した・・・

- 日時 / 10月12日(祝) ①11時～ ②14時～
- 場所 / 子どもの館(黒崎コムシティ7階)
- 金額 / 一般1,000円
中高生、障害者手帳提示500円



《お問い合わせTEL》…瀬下(093-622-1289)

分かち合いのひととき

虹の会

7月26日 24名参加

次回2015年9月27日ミサ後。どなたでもご参加ください。

「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です」

教皇ヨハネパウロ二世

虹の会が発足して10年が経ちました。その恵みに感謝して、援助修道会シスター山本きくよ様をお迎えして、分かち合いました。

Sr.山本作詞作曲「平和の大工」♪平和を作ろうトントン～♪を始めの祈りとして皆さんで歌い、楽しい雰囲気の中シスターがお話してくださいました。

戦後70年の節目を迎え、原発、辺野古基地問題、そして安保法案強行採決と私たちに重くのしかかる今の社会問題。知ったことが信仰とどう繋がるかの大切さが話されました。また憲法の基本原理をライオンと檻の

たとえ話をういて、憲法は人(表現の自由)をライオン(権力)から守る檻であると紹介してくださいました。ミサの終わりの派遣(行きましよう主の平和のうちに)は、「教会の圏外に出て、社会の人と働くことです。」とその大切さも話されました。参加された方から、「自分に向き合い、少しずつ変えられていきたいと願う祈りの大切さが心に響きました。」「戦争は絶対に繰り返されてはいけません。」「キリスト者として、どう神と繋がり、社会と繋がるか改めて考えさせられました。」など分かち合われ、豊かな分かち合いのひと時でした。

「正義と平和全国集会福岡大会」基調講演録(2014年9月13日)

東アジアの平和と福音的展望

韓国国民1%の済州島民と東アジアの平和実現を夢見ながら



カトリック韓国済州教区長

カン・ウイル司教

※文責／編集部

【ベトナム戦争と韓国】

私は数年前から韓国の現代史の中であまり顧みられなかった時期の事を思い起こして、みなさんと分かち合いたいと思います。

韓国は1965年から73年まで約8年間ベトナム戦争に軍隊を送りました。多い時で48、000人位、延べ30万人も派兵しました。アメリカ政府の要請とは言っても、当時の韓国の朴政権は、派兵を通して国内の経済復興の柱にしたかったのも事実です。8年間のあいだ、戦争の為に韓国軍人およそ5、000人が戦死し、41、400人の敵軍を射殺したと報告されています。しかしそれだけではなく、公式の統計では集計されなかったこと、すなわちベトナム民間人の犠牲者が少なくなかったというところに大きな問題が提起されます。不完全な統計ですが、ベトナム文化通信部では、およそ5000人あまりの民間人が韓国軍によって虐殺されたと書かれています。しかし実際、虐殺現場の住民たちはこの数字を信頼していません。ベトナム政府が正確な数字の調査に消極的であると彼らは不満を表わしています。地域によっては住民たちの主張する数値が、ベトナム政府の公認した数字の倍を超えることもあります。韓国市民団体の資料と現地調査の結果、最終的に市民団体が見る犠牲者の数値というのは、あちこちで80件ほどの民間人虐殺事件があり、約9、000人あまりが犠牲になったと推定されています。これは1999年9月2日のハングョレ21という週刊誌に報告されている内容であります。

(11)

市民団体の人たちがベトナムに行きいろいろ調べ、キム・ヒョナさんという方がインタビューしたベトナムのクアンガイ省ソンテイ県のグエン・リーさんという方の証言があります。

「1966年陰暦9月27日、朝7時頃でした。私たちはいつもと変わらず食事をしたり、仕事の準備をしていました。韓国軍が村に入り、無差別攻撃をしました。食事をしたり授乳していた人が殺されました。そして人を集めて殺しました。韓国軍がやって来た時、私は避難壕の中にいましたが走り出してサトウキビ畑に隠れました。火がつけられ大狂乱となりました。韓国軍が山に引き揚げてから見たところ、2、3名ずつ、5、6名ずつ仰向けになったり、うつ伏せになったり、いろいろな姿で死んでいました。食事をしていた死んだ人もいました。お乳をやっているところで死んだ人もいました。私の家はこれ以上のひどさでした。父は食事中で器を持ったまま倒れていました。口のなかにはごはん粒がそのままありました。甥姪たちはハイハイしていたので、ああ死ななかつたなと思つたらハイハイの状態で死んでいました。扉のない避難壕に行つてみると、母と甥姪たちが座っていました。死なないでいたと思いをかけると座ったままみんな死んでいました。姪は3人の子どもと一緒に死んだが、生後2か月の赤ん坊は死んだまま胸に抱かれていました。授乳中だったのか片方の乳房が出ていました。あまりにも恐ろしくて青ざめました。しかし慰霊碑には3名の名前しかありません。」これは2009年に出版された「戦争の記憶・記憶の戦争」91pに書いてある内容です。

(続く)

編集後記

「安倍首相の答弁を聞くと腹が立ってしょうがない」という声が編集部にも届きます。同感です。しかし怒ってばかりでは平和への闘いは長続きしません。沖縄の人々に学ぶことが必要でしょう。「どんなにひどい仕打ちをされても、怒っても、常にユーモアと笑いを忘れない沖縄の人々のたくましい“人間力”が心に迫る。」「戦場ば止み」の映画を観た高畑勲氏の言葉です。10月上旬に北九州市内数カ所ですすめられています。沖縄現地に行けなくても、千円と2時間の時間で、沖縄で今何が起きているのかが分かります。ぜひご観覧を。(瀬下)